

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西三荘橋波土地東側ビル新	階数	地上4F
建設地	大阪府守口市橋波東一町	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,285時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年6月12日
敷地面積	1,988㎡	作成者	長谷秀人
建築面積	1,185㎡	確認日	2019年6月14日
延床面積	3,582㎡	確認者	上羽一輝



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 87%

③上記+②以外の 87%

④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・ピロティ空間やオープンスペース等、優れた歩行者空間を持ち、かつ植栽の活用により、周辺環境や街並みを調和を図る計画としている。 ・高断熱の建築計画、高効率な空調機器や照明設備を選定している。 ・将来対応可能なフレキシビリティの高い建築・設備計画としている。		<b>その他</b> ・特になし
<b>Q1 室内環境</b> ・吸音性の高い、天井、床材を採用している。 ・内部仕上げには、全面的にF☆☆☆☆のものを採用している。 ・断熱性の高い外壁、ガラスは複層とし、日射による空	<b>Q2 サービス性能</b> ・天井高さや、一人当たりの執務スペースはゆとりのある空間を確保している。 ・維持メンテナンスが容易なものを採用している。 ・事務室はOAフロアの採用により、将来の更新にも配慮	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・植栽を多く取り入れ、周辺建物と調和の取れたデザインとしている。 ・ピロティ空間やオープンスペースを連続させることで、周囲を調和の取れた外部景観を形成している。
<b>LR1 エネルギー</b> ・消費電力の少ないLED照明の採用をしている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・再利用が可能な資材の使用、またはリサイクル品を使用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・車両動線を明確化している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)西三荘橋波土地東側ビル新築工事(北棟)						
	建設地	大阪府守口市橋波東之町						
	用途/区分	事務所 物販店 飲食店						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.8	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							